

(仮訳)

## プレス・リリース

2023年12月7日

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）は、暗号資産と銀行勘定の金利リスクの基準に関する的を絞った改訂について市中協議を行うこと及び G-SIB 枠組みに関連したウィンドウ・ドレッシング行動に対処するための取組みを進めることに合意。

- バーゼル委は、暗号資産に係る基準に関する対象を絞った見直しと、銀行勘定の金利リスクに係る水準再調整について市中協議を行うことに合意。
- グローバルなシステム上重要な銀行（G-SIBs）の枠組みに関して、一部の銀行によるウィンドウ・ドレッシング行動に対処するための潜在的な対応を策定することを決定。
- 低炭素経済への移行に伴うリスク及び関連する物理的リスクを管理するうえで考慮すべき事項について議論。

バーゼル委は、12月5日と7日にバーチャル会合を開催し、一連の政策・監督上の取組みについて議論した。

### 暗号資産

バーゼル委は、2022年12月に[公表](#)された銀行の暗号資産エクスポージャーに関する健全性基準の様々な要素の見直しについてストックテイクを行った。ステーブルコインが「グループ 1b」暗号資産として規制上の優遇措置を受けるための要件に関連して、的を絞った改訂の可能性について市中協議を実施することで合意した。バーゼル委は、また、基準の一貫した理解を促すために、様々な技術的改訂についても市中協議を実施する。バーゼル委は、パーミッションレス型ブロックチェーンを利用した暗号資産は、現時点では十分に軽減できないリスクを生み出すと結論付け、そのような暗号資産に対する現行の取扱いを維持することに合意した。市中協議文書は今月公表される予定である。

バーゼル委は、銀行が暗号資産のカストディサービスを提供することから生じるリスクについてもレビューを行った。こうしたサービスは銀行にとって様々なオペレーショナル・リスクを生じさせるため、バーゼル委の「[オペレーショナル・レジリエンスのための諸原則](#)」や「[健全なオペレーショナル・リスク管理のための諸原則](#)」を完全に実施することの重要性が強調される。

バーゼル委は、銀行による暗号資産カストディ業務の進展を引き続き監視し、市場の動向を考慮しつつ、追加的な作業の要否を検討する。

## 銀行勘定の金利リスク

バーゼル委は、銀行勘定の金利リスク（IRRBB）に係るバーゼル委の基準について、的を絞った調整を行うことに関する市中協議を行うことに合意した。この調整は、2022年12月に公表されたバーゼル委の[2023-24年作業計画](#)の一部として開始されたレビューの結果を反映している。したがって、これは2023年の銀行セクターの混乱に対するバーゼル委の[フォローアップ作業](#)とは別の作業である。本市中協議では、IRRBB基準が2016年4月に初めて公表されて以降の金利変動を考慮し、同基準に規定されている金利ショックの水準を更新することを提案する。市中協議文書は今月公表される予定である。

## グローバルなシステム上重要な銀行とウィンドウ・ドレッシング行動

バーゼル委は、グローバルなシステム上重要な銀行（G-SIBs）の枠組みに関して、一部の銀行による「ウィンドウ・ドレッシング」行動に焦点を当てた一連の実証研究について議論した。

このような規制裁定行動は、[G-SIBスコア](#)の報告や公表に用いられる基準日付近で、認識された銀行のリスク・プロファイルを一時的に低下させようとするものである。

バーゼル委が以前に指摘したように、銀行によるウィンドウ・ドレッシング行動は許容できない。このような行動は、バーゼル委の基準が意図する政策目標を損ない、金融市場のオペレーションを混乱させるリスクがある。このため、バーゼル委は、ウィンドウ・ドレッシング行動の抑制を目的とした潜在的な政策オプションについて、2024年に市中協議を行うことに合意した。この作業を支援するため、バーゼル委はより高い頻度のデータ項目を収集する。

## 気候関連金融リスク

バーゼル委は、気候関連金融リスクに対処するための包括的なアプローチの一環として、低炭素経済への移行に伴うリスク及び関連する物理的リスクを管理するうえで潜在的に考慮すべき事項を策定することについて議論した。バーゼル委は、今後数ヶ月にわたり、これらの問題を引き続き検討していく。

これらは、[監督のための諸原則](#)、FAQへの[回答](#)、及び最近提案された[開示の枠組み](#)の公表を含む、バーゼル委によるこれまでの取組みを補完するものである。

## バーゼルⅢ改革の実施状況

バーゼル委は、[規制の整合性評価プログラム（Regulatory Consistency Assessment Programme）](#)の一環として、メキシコ及びスイスにおける安定調達比率（NSFR）及び大口エクスポージャーの枠組みの実施状況に関する審査報告書をレビューし、承認した。

また、バーゼル委はメキシコの流動性カバレッジ比率（LCR）の実施状況に関するフォローアップ審査報告書を承認した。これらの報告書は今月公表される予定である。